

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ありんこるーむ芦北			児童発達支援
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		～	2024年12月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○従業員評価実施期間	2024年11月18日		～	2024年12月8日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団だけでなく、マンツーマンでの個別療育で支援ができること	一人一人の発達段階を確認しながら、個々に合った課題選び(課題の作成)を行うこと	発達段階をスタッフ全員で確認していく PT・STの専門的な見立て、アドバイスを取り入れていく
2	親子療育を行っていること	子どもの、成長、課題、状況などを保護者と共有し、関わり方を一緒に考えていく 保護者同士の交流の場として利用していただく	保護者同士がゆっくり話せる時間、個別に相談ができる時間を確保する
3	年長児のスクール形式での療育	小学校に少しでも安心して通うことができるよう、学校で使う用語を使い、机やイスなどの環境を整える 体操服に着替える、トイレ後の身だしなみなど、入学後の困りを減らしておく	うわばき、筆箱、チャイムの使用など、さらに学校に近い状況で活動する 現在の学校の様子などを把握し、支援に取り入れる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動遊び、日常生活につながる遊びの充実	スタッフ間で話し合う時間や準備の時間が限られている 限られたスペース、設備による活動のマンネリ化	話し合いや準備に要する時間の確保 定期的な活動内容の見直し 活動スケジュールを早めに立て、準備を進める
2	保護者同士の交流、研修の場の提供	親子療育内では時間の確保が難しい 保護者会の開催が少なく、また開催しても参加人数が少ない	親子療育時に親子分離の時間を設けるなど工夫する 早めに保護者会の計画を立て、お知らせする 保護者が参加したくなる内容を企画するため、情報収集を行う
3	地域に出向いての活動	運動遊び、個別課題、グループ活動がメインになり、事業所外での活動を考えていなかった	まずはお散歩(交通ルール)などから、事業所外に出てみる 年長児は地域の施設に出向き、マナーなども学ぶ機会を設ける